

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月22日

事業名	漏水防止対策事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	水道事業	事業計画	単年度繰り返し	
	課	水道課				款	1	新規or継続	継続事業	
	係	水道維持係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			水道法	開始年度	H18	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり				終了年度	-	事業分類	検査・調査事務
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施区域を選定し、計画的に市内全域の漏水調査を行う。</li> <li>実施方法は、専門業者に業務委託を発注し調査を行い、調査結果報告書を提出させる。</li> <li>漏水発見後は、速やかに指定給水装置工事事業者者に修繕を依頼し、給水装置が復旧することで、安全安心な水道水の安定した供給をできるようにする。</li> </ul>
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	漏水を早期に発見し修繕する。	(3) 目標値	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		水質基準に適合した割合	%	100	100	100	100	100	

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	漏水調査業務委託の実施（および漏水発見箇所の修繕） 漏水調査を実施した管延長:660km 漏水調査を実施した給水戸数:60,420戸 漏水発見件数:345件	(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移	活動指標	単位	R3	R4	R5
		漏水調査を実施した管延長	km	530	425	660	
		漏水調査を実施した給水戸数	戸	51,612	42,800	60,420	
		漏水発見件数	件	244	248	345	
		事業費計	千円	36,300	32,670	45,221	
		一般財源	千円	36,300	32,670	45,221	
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	有収率向上のため、戸別音聴調査は佐野・田沼・葛生地区、路面音聴調査は田沼地区と葛生地区は各年度調査とした。 令和5年度は佐野地区の配水量増加による漏水の疑いがあったため、路面音聴調査を130kmの再調査を行い、漏水発見件数が増加した。	(4) 事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		水質基準に適合した割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない	

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が変わらない指標数	1指標	費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標	費用の増減無し		
	指標全体	効果は変わらない	費用が増加した	○	

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

<p>平成17年2月の市町合併を契機に、継続して水道事業の安定した経営につなげていくため、給配水管の漏水調査を行い修繕している。</p> <p>漏水箇所の早期発見・修繕のため漏水調査を行う。一方、老朽管更新の計画的な実施により漏水防止を図る。新技術についても積極的に検討し、今後も事業を継続して有収率の向上などの課題に取り組む。</p> <p>関係者（市民、議会、事務事業対象者）からの意見・要望は特にはない。</p>
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）</li> <li><input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討</li> <li><input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討</li> <li><input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）</li> </ul>	取組説明	現状維持であるため、特に検討事項はない。
---	------	----------------------

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月8日

事業名	ダム管理費支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	財政課			款	4	新規or継続	継続事業	
	係	財政係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	補助に係る覚書	事業期間	開始年度	S53	実施方法	直営
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	昭和53年3月2日に締結した「上水道第4次拡張事業費の補助に関する覚書」（その後、一部変更あり）に基づき、第4次拡張事業費の一部を佐野市水道事業に対する第4次拡張事業費補助金として草木ダム管理費の一部を支出している。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	覚書に基づく額を補助し、佐野市水道事業の経営を支援する。
-------------------------	------------------------------

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
補助額/覚書に基づく額	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	佐野市水道事業に対して、覚書に基づく額を補助した。
--------------------------	---------------------------

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
覚書に基づく額	千円	3,695	3,916	3,893
事業費計	千円	3,695	3,916	3,893
一般財源	千円	3,695	3,916	3,893
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市水道事業に対して、覚書に基づく額を全額補助し、経営を支援した。
------------------	------------------------------------

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
補助額/覚書に基づく額	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

効果			
費用	費用が下がった	費用が増減無し	費用が増加した
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
		○	

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし
------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
覚書に基づいた額を佐野市水道事業に補助し、経営を支援する。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月8日

事業名	水道事業会計出資金	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部		予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	財政課			款	4	新規or継続	継続事業	
	係	財政係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	H30	実施方法	直営
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度	R10	事業分類	支援事業	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	クリプトスポリジウム等の汚染に対処するための高度浄水施設（膜ろ過施設又は紫外線処理施設）を整備する佐野市水道事業に対し、繰出し基準に基づき、その費用の一部を出資金として支出する。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	繰出し基準に基づいた額を出資金として支出し、佐野市水道事業の経営を支援する。
-------------------------	--

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
出資金額/繰出し基準額（10万円未満切捨て）	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	佐野市水道事業に対して、繰出し基準に基づいた額を出資金として支出した。
--------------------------	-------------------------------------

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
紫外線照射装置等設置力所	カ所	1	1	1
繰出し基準額（10万円未満切捨て）	千円	89,200	54,700	19,400
事業費計	千円	89,200	54,700	19,400
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円	89,200	54,700	19,400
（うち受益者負担）	千円			

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市水道事業に対して、繰出し基準に基づいた額を全額出資金として支出し、経営を支援した。
------------------	--

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
出資金額/繰出し基準額（10万円未満切捨て）	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		※ 10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果は変わらない

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

繰出し基準額に基づく出資金であれば、後年度の元利償還に対して普通交付税措置があるため、費用対効果を考えると繰出し基準額までの支出とする。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
繰出し基準に基づいた額を出資金として佐野市水道事業に支出し、経営を支援する。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月2日

事業名	旧簡易水道支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	環境政策課			款	4	新規or継続	継続事業	
	係	環境係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	地方公営企業法 佐野市補助金等交付規則	事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	簡易水道事業の資本費負担の軽減を図るため、建設改良費の一部について、一般会計から企業会計へ繰り出す（簡易水道事業の建設改良費、企業債元利償還金）。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡易水道事業の資本的負担の軽減</li> <li>安全で安定した水の供給</li> <li>公営企業の経営の健全化、経営基礎強化</li> </ul>
-------------------------	--

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
旧簡易水道施設数	件	9	9	9	9	9
補助金額	千円	79,020	78,984	78,900	78,900	78,900
総収支比率（総利益/総費用）	%	113.5	113.5	113.5	113.5	113.5

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	簡易水道事業の資本的負担の軽減を図るため、簡易水道施設の整備、水の供給事業へ支援（補助金交付）した。
--------------------------	--

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
補助金額	千円	79,020	78,983	78,946
事業費計	千円	79,020	78,983	78,946
一般財源	千円	79,020	78,983	78,946
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	水道事業の健全な経営を支援する一方で、有収率及び総収支比率は前年度よりも低下した。
------------------	---

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
旧簡易水道施設数	件	9	9	9		
補助金額	千円	79,020	78,983	78,946		
総収支比率（総利益/総費用）	%	112.1	104.7	98.6	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			○
	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

総収支比率を注視する必要がある。
------------------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年7月31日

事業名	水道事業・下水道事業会計事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	水道・下水道	事業計画	単年度繰返し
	課	企業経営課				款	—	新規or継続	継続事業
政策体系	係	会計係		名称	根拠法令、条例等	項	—	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	522	—			目	—	義務or任意	義務的事业
	基本目標	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり				事業開始年度	S43	実施方法	直営
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			事業終了年度	なし	事業分類	その他内部事務事業
施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理	地方公営企業法第13~43条、佐野市水道事業及び下水道事業会計規程第97~100条、地方公営企業法施行令及び同施行規則						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	例月出納検査を受検し結果を集計し、上下水道事業の決算をまとめ、監査委員による監査を受けて議会に提出し認定を受け、決算を公表する。収入・支出・振替伝票を正確に作成し、給与及び工事費等の各種支払いを行う。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	水道及び下水道事業の収入・支出・決算事務を正確に行う 水道事業の資金については、計画に基づき、最も確実有利な方法で適正に運用し利益を図る
-------------------------	---

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
支払が適正に行われた割合	%	100	100	100	100	100
訂正した伝票枚数/審査した枚数	%	1	1	1	1	1
水道事業現金運用額	百万	900	860	850	800	910

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	令和4年度決算書作成 令和5年度上下水道事業例月出納検査資料作成 公営企業会計各種伝票作成、審査及び支払 水道事業資金の運用を確実有利な条件で実行
--------------------------	--

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
審査した伝票の枚数	枚	13,338	21,029	23,152
事業費計	千円	10,851	24,176	22,153
一般財源	千円	10,851	24,176	22,153
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	水道事業及び下水道事業の収入・支出・振替伝票の間違いをなくし、水道事業の収入・支出処理を適正に行った 水道事業の資金について、安全かつ有利な方法で運用を行った
------------------	--

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
支払が適正に行われた割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
訂正した伝票枚数/審査した枚数	%	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
水道事業現金運用額	百万	850	850	800	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	2指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果は変わらない

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		○	
費用の増減無し			
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度より契約の変更により会計事務に係る費用が減額となったものの、以降しばらくは経費の増減がほぼ起きない模様である。当該事務でははまず正確性を重視し、局全体で経費節減に努めるようにする。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	
------	--

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年8月2日

事業名	水道料金等賦課徴収事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局	予算中事業名	水道料金等賦課徴収事務	会計	水道・下水道	事業計画	単年度繰返し			
	課	企業経営課				予算	水道・下水道	新規or継続	継続事業		
	係	経営企画係				科目	水道・下水道	市単独or国県補助	市単独事業		
政策体系	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等	目	水道・下水道	義務or任意	義務的的事业			
	基本目標	5				快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業	開始年度	S43	実施方法	直営
	政策	2				住みやすい快適なまちづくり		終了年度	—	事業分類	その他内部事務事業
	施策	2				安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理		佐野市水道事業給水条例			
			佐野市下水道条例								

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	水道メーターの検針等の結果に基づき、水道料金、下水道使用料を算定し、調定を確定させる。 料金等の納入方法は、口座振替と納付書とし、期日までに納付がなかった対象者（滞納者）には、督促状、催告書、給水停止予告通知の発送、訪問による督促、給水停止の執行をし、支払い希望者への納付書の再発行、口座振替依頼書の送付、依頼による開栓、閉栓を実施する。
------	--

### （2）目的

### （3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	検針等に基づき、正確な使用量と水道料金、下水道使用料を確定させ、遅滞なく徴収する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		水道料金収納率	%	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8
		下水道使用料収納率	%	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	水道メーターの検針 水道料金、下水道使用料の調定の確定及び収納	活動指標	単位	R3	R4	R5
		水道メーター検針件数	件	321,713	316,300	324,122
		水道料金調定件数	件	325,673	326,968	327,988
		下水道使用料調定件数	件	205,130	207,901	211,009
		事業費計	千円	78,751	107,870	112,017
		一般財源	千円	78,751	107,870	112,017
		特定財源（国・県・他）	千円			
	（うち受益者負担）	千円				

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	検針等に基づき、正確な使用量と水道料金、下水道使用料を確定させ、遅滞なく徴収を実際した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		水道料金収納率	%	98.0	98.0	97.7	値が大まかいほど良い	効果が下がった
		下水道使用料収納率	%	97.5	98.0	96.0	値が大まかいほど良い	効果が下がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	2指標			
	指標全体	効果が下がった			○

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和4年度からの徴収等業務委託、令和5年度からの水道統合システム保守の更新により委託料が増額となったものの、増額の主な理由が委託範囲の拡大によるものため、費用増加分の効果はある見込みである。
---

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

事業名	日本水道協会参画事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局	予算中事業名	会計	水道	事業計画	期間限定複数年度								
	課	企業経営課						予算	款	—	新規or継続	継続事業			
政策体系	係	経営企画係	根拠法令、条例等	科目	目	—	市単独or国県補助	市単独事業							
	体系コード	522							名称	根拠法令、条例等	目	—	義務or任意	義務的的事业	
	基本目標	5							快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	佐野市水道事業会計規程第13～14条、地方公営企業法	事業	開始年度	S43	実施方法	直営
	政策	2							住みやすい快適なまちづくり		期間	終了年度	—	事業分類	参画事業
施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理													

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

## (1) 事業概要

事業概要	新技術、法改正情報等の研修や会議に、必要に応じ参加する他、防災訓練等に参加する。年会費（有収水量を基礎に会費算出）を納入する。 ※「(公社)日本水道協会」とは、水道事業の経営や技術及び水質問題について調査研究を行う他、水道用品の検査及び品質認証を行う。また、国に対して水道に関する請願、建議を行い、全国水道事業者の諸問題解決のため活動しており、昭和7年5月に設立された公益社団法人である。
------	---

## (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	水道の知識、技術の向上及び情報収集を図る。	(3) 目標値						
		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		知識技術を向上できた職員の割合	%	100	100	100	100	

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

## (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	4月 栃木県支部令和5年度第1回総会（委任状）	活動指標	単位	R3	R4	R5
	6月 第102回日本水道協会総会（委任状）	研修、会議等への参加回数	回	3	3	4
	6月 水道基礎講座研修	研修、会議等への参加人数	人	7	16	5
	8月 水道基礎講座研修					
	8月 第91回関東地方支部総会（委任状）	事業費計	千円	362	318	397
	8月 栃木県支部県南ブロック研修会（水道展）	一般財源	千円	362	318	397
	8月 事業規模別研修会（書面）	特定財源（国・県・他）	千円			
	10月 第103回日本水道協会総会（委任状）	（うち受益者負担）	千円			
	1月 栃木県支部合同防災訓練への参加（地震発生により中止）					
	2月 栃木県支部令和5年度第2回総会					

## (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

## (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	水道の知識、技術の向上及び情報収集を図る目的で、研修の実施や総会への出席を行った。	(4) 事業効果を説明する数値データの推移						↓選択して下さい	
		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
		知識技術を向上できた職員の割合	%	100.0	100.0	100.0	値が大まかいほど良い	効果は変わらない	

## (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果は変わらない			
費用	費用は下がった				
	費用の増減無し				
	費用が増加した				

## 4. 次年度に向けた検討

## (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度に能登半島地震があり、(公社)日本水道協会を通じた復旧活動を行ったが、定期的な研修や会議の効果があることを実感した。今後も、水道事業を安定的に運営するため、水道の知識、技術の向上及び情報収集を図っていく必要がある。
--

## (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------